

# 2014年8月の供給レポート

## 住宅内装材に幅広く波及 — 石化製品の高値

### 壁紙6年ぶり値上がり



壁紙（クロス）の卸値がほぼ6年ぶりに上がりました。原料となる塩化ビニール樹脂の価格上昇が波及しました。販売大手が出荷価格を1割程度引き上げました。

パイプでも値上げが進んでいます。石油化学製品の値上がりが、幅広い建設資材に及んできました。

（2014年7月19日 日本経済新聞記事から抜粋）

## 農林・漁業と発電 合体 — 新電力のエナリス

### 間伐材燃料 温水をウナギ養殖に



新電力のエナリスは、林業、漁業、農業など地元の一次産業と発電事業を組み合わせた再生可能エネルギー発電所の建設に乗り出します。

第1弾として、大分県佐伯市に林業で発生する間伐材を燃料とするバイオマス（生物資源）発電所などを建設。発電時に発生する温水で地元漁業者がウナギ養殖に進出します。

（2014年7月24日 日本経済新聞記事から抜粋）



## 建築用ガラス値上げ — 旭硝子が10～20% 原料高を転嫁

### 同業他社、追従の可能性も



ガラス最大手の旭硝子は、ビルの窓ガラスなどに使う建築用ガラスを9月1日納品分から値上げをします。原油高や為替市場の円安傾向で重油やけい砂などの原燃料が値上がりしており、製品価格に転嫁します。同社の値上げは6年8か月ぶり。市場シェア4割の旭硝子の値上げで、同業他社が追従する可能性が高くなります。

(2014年7月23日 日本経済新聞記事から抜粋)

## 府内産木材加工に助成 — 京都府 林業の活性化狙う



京都府は、森林組合や民間企業を対象に、府内産木材を加工する機械の導入費や、木材加工品の開発費を半額助成する制度を設けます。伐採に必要な経費の助成も拡充します。

(2014年7月30日 日本経済新聞記事から抜粋)

## 水回り設備10年保証 — LIXIL 1～2万円台



LIXILは、8月から住宅の水回り設備を最長10年まで保証するサービスを開始します。これまで2年間の無料保証を提供していましたが、有料で5年間と10年間に変更できるようにします。

5年間の場合は最高で9,000円、10年間は11,000～22,000円かかり、引渡から1か月以内に申し込みます。

(2014年7月31日 日本経済新聞記事から抜粋)

